

京都大学桂団地クラスターC整備計画

1. クラスターCの与条件

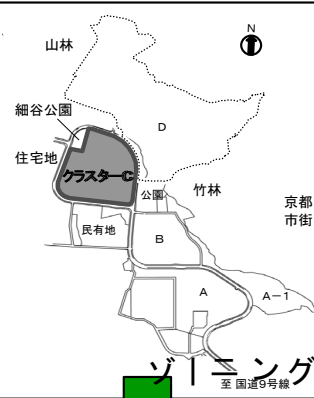
与条件の整理

①敷地条件、法的規制

細谷公園の位置変更、地区計画(H=15m、  
建ぺい率35%)の策定、住宅地と自然に囲ま  
れた高低差25mの傾斜地

②周辺住民への配慮

プライバシーの確保、景観への配慮、住宅地と  
自然に囲まれた風景との調和



2. クラスターCの設計コンセプト

人にやさしい、自然にやさしい建築

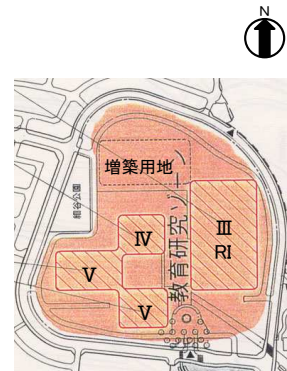
①周辺住民への配慮

- ・建物を小さなボリュームに分割し、大きな壁面をつくらないようにする。
- ・大型実験室を住宅地側の地下に埋め、屋上緑化を図ることにより、壁面後退距離を大きく見せる。
- ・縦横の隣棟間隔を広くとることによって、視界が通るように計画する。

- ・住宅地側に大きな緑地ゾーンを確保し、遊歩道兼メンテ用道路を設ける。
- ・周辺道路の高低差に合わせて、建物の高さを抑え、景観に配慮する。

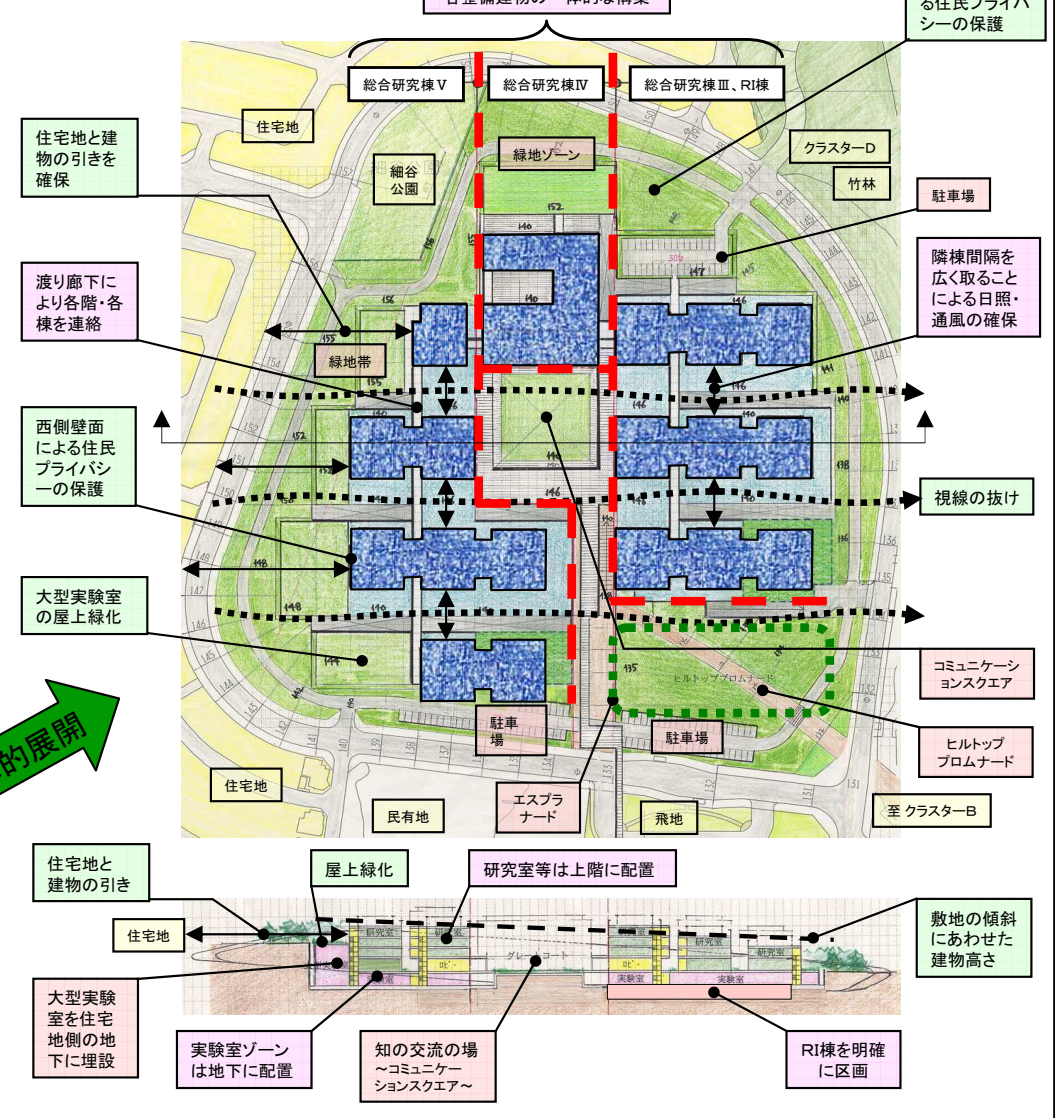
②その他

- ・実験室(ヘビーなゾーン)を地下に、居室的な教室・研究室(ライトなゾーン)を上階に配置し、断面的にゾーニングする。
- ・南東側に増築スペースを確保する。



ゾーニング(長期計画書より抜粋)

3. ゾーニングからの展開



鳥瞰イメージ図

